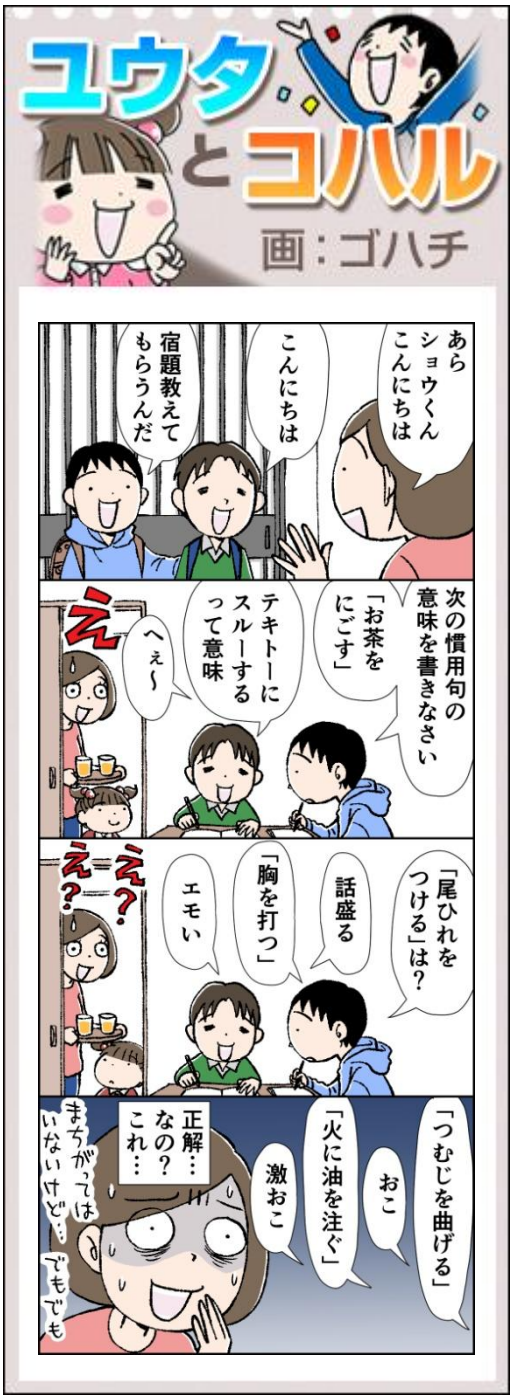


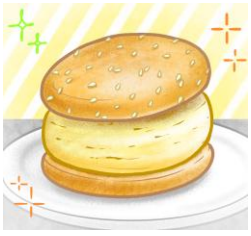
暮らしの中の千夜一話

梅雨明けの強い日差しが商店街のアーケードを焦がしていた。その一角に、古びたレコード店「音の箱」はひっそりとたたずんでいる。店主の啓子は今日も１人、埃っぽい店内でレコードの整理をしていた。店には最新のヒットチャートなどは置いていない。古き良き時代のジャズやクラシック、それに懐かしい歌謡曲ばかりだ。それでも時折ふらりと客が訪れては、思い出の詰まった１枚を探していく。今日は開店からまだ１人も客は来ていない。店の奥からは、昔のジャズシンガーの、少ししゃがれた歌声が聞こえてくる。ふと、店のドアが開いた。入ってきたのは見慣れない若い女性だった。日焼けした肌に白いワンピースがよく似合っている。女性は少し戸惑った様子で店内を見回すと、やがてクラシックのコーナーで足を止めた。「何かお探しですか？」啓子が声をかけると、女性は少し驚いたように振り返った。「クラシックのレコードを探しているんです。夏の静かな夜に聴きたくなるような・・・」。夏の静かな夜に聴きたくなるクラシック。啓子は奥の棚から数枚のレコードを取り出した。ドビュッシーの「月の光」、サティの「ジムノペディ」、そして自分の好きな夜想曲。「どれも夏の夜に合うと思いますよ」。女性はレコードジャケットを１枚ずつ手に取り、時間をかけて眺めたあとで「月の光」を選んだ。「ありがとうございました」と店を出て行く女性の後ろ姿を見送りながら、啓子は思う。人それぞれ色々な夜がある。喜びや悲しみ。言葉にならない静かな想い。レコードの音色は、そんな夜にそっと寄り添ってくれる。啓子にも覚えがあった。再び静かになった店内で、啓子はそっとレコードに針を落とした。

トピックを探る

今月のトピック：【ドムドムバーガー】

ドムドムバーガーは日本最古のハンバーガーチェーンです。バーガーメニューは「厚焼きたまご」「春菊のから揚げ」などの個性派ぞろい。店舗限定や毎月発表の新メニューもおきて破りのオンパレードです。ロゴマークの象「どむぞうくん」のキャラクターグッズの人気により若い世代の認知も急上昇。絶滅危惧からの復活劇に目が離せません。



― 弊社のモットー ―

私共はあなた様の想いに誠心誠意、奉仕致します。　つまり、
愚直に、真面目に、地道に、誠実に、謙虚に、スピード感を持ってことにあたります。

株式会社　エルフォルク

〒733-0002
広島市西区楠木町３丁目 10-22
TEL：082-230-8870　FAX：082-230-8871
https://www.tent-erfolg.co.jp